

あさ(大麻)・けしを撲滅しましょう！

5月1日から6月30日までの2か月間、県下一斉に「不正大麻・けし撲滅運動」が実施されることになりました。

みなさんも、あさ(大麻)とけしに関する知識を身につけて、たとえ鑑賞用であっても不正に栽培しないように注意しましょう。

1. あさ(大麻)について

あさ(大麻)は繊維採取用植物として、わが国では古代から栽培されてきた植物で、その皮からとれる繊維は麻糸として衣類またはロープ等に用いられ、皮を取り去った残りの部分の”オガラ(アサガラ)”は祭礼に、種子は七味とうがらしやハトなどの飼料に使われます。

このあさ(大麻)の葉および茎はその取扱いを誤ると社会的に恐るべき害毒を及ぼすことから「大麻取締法」という法律によって不正栽培等が禁止されています。

【特徴】

- (1) 雌雄異株(雌花と雄花とがあって、それぞれ別の株につく)の一年生草本植物であり、全草に独特の臭気(青くさみ)がある。
- (2) 茎は四角形、緑色で浅い縦溝が通っていて直立し、太さは親指ほどになり、高さは1~2.5mに達する。
- (3) 葉は3~9枚の小葉が集まって掌状をしており、各小葉の先端はとがり、ふちは鋸の歯状に切れ込んでいる。

2. けしについて

けしは園芸用として植えられ、また、自生して初夏の頃に色とりどりの花を咲かせますが、けしには多くの種類があり、そのうち「けし(ソムニフェルム種)」と「アツミゲシ(セティゲルム種)」は「あへん法」、「ハカマオニゲシ(ブラクテアツム種)」は「麻薬及び向精神薬取締法」という法律によって、不正栽培等が禁止されています。

	植物の種類	草丈	葉の色	葉の特徴	毛の特徴	花
植えてはいけな いけし	ケシ (ソムニフェルム種)	100~160cm	白味を帯びた 緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みが浅い ・茎上部の葉は茎を抱き込む (6頁)	・葉、茎、つぼみの表面には、 ほとんど毛がない(6頁) ・葉の裏の主脈やつぼみの下の 葉にあることがある	・大き径8~12cm ・一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある ・色は赤、桃、紫、白など ・花びらの基部に斑点があるものもある
	アツミゲシ (セティゲルム種)	50~100cm	緑色	・ふちが不規則なぎざぎざ ・葉の切れ込みがやや深い ・茎上部の葉は茎を抱き込む (7頁)	・葉の裏の主脈やつぼみの表面、 つぼみの下の葉にある(8頁)	・大き径6~8cm ・花びら4枚 ・色は薄紫、赤など ・花びらの基部に斑点があるものもある
	ハカマオニゲシ (ブラクテアツム種)	60~100cm	濃い緑色	・扇の羽のような(羽状)切れ 込みがある ・花の真下に苞葉がある (通常4~6枚)	・全体が白く短い毛で覆われている ・つぼみの表面の毛は寝ている (10頁)	・大き径9~12cm ・花びら4~6枚 ・色は深紅(10頁) ・花びらの基部に黒紫の斑点がある
植えてもよ いけし(主なもの)	オニゲシ	50~100cm	濃い緑色	・扇の羽のような(羽状)切れ 込みがある ・花の真下に苞葉があることが ある(通常0~5枚)	・全体が白く短い毛で覆われている ・つぼみの表面の毛は立っている (10頁)	・大き径9~12cm ・花びら4~6枚 ・色は橙~朱色(10頁) ・花びらの基部に黒紫の斑点があるものもある
	アイランド ポビー	70~80cm	緑色	・深い切れ込みがある(12頁) ・菊の葉に似ている	・全体が短い毛で覆われている	・大き径7~8cm ・花びら4枚 ・赤、桃、橙、白など ・ケシ属には珍しく黄色の花がある
	ヒナゲシ (真美人草)	50~80cm	緑色	・深い切れ込みがある(12頁)	・全体が細かい毛で覆われている	・大き径6~8cm ・一重咲きは花びら4枚、八重咲きがある ・色は紅、橙、桃色など ・花びらの基部やふちが白色のものもある
	ブルーポビー	50~120cm	緑色	・切れ込みがあるものとなないもの がある	・全体が短い毛で覆われているが 毛の少ないものもある	・大き径5~15cm ・花びら4~9枚 ・色は青~青紫 ・白、紫、紅紫の花が咲くものもある

もし、あなたの周囲で不正に栽培されている、もしくは、自生しているあさ(大麻)・けしを見つけたらすぐに県庁薬務課(077-528-3634)、最寄りの健康福祉事務所(保健所)または警察署(交番)へ届けてください。

ハカマオニゲシ(ブラクテアツム種) 学名:パバヴェル・ブラクテアツム・リンドル

<特徴>

- ◎初夏に、径 9～12 cmの鮮やかな深紅の大きな花を咲かせます。
花びらは 4～6 枚で、基部に黒紫の鮮明な斑点があります。
- ◎花びらのすぐ真下に 4～6 枚のハカマ(苞葉)があります。
これは、果実ができて、果実の下の茎(果梗)が枯れるまで残り、
ハカマのように見えるので、「ハカマオニゲシ」の名前の由来となりました。
- ◎草丈は60～100cmで、葉や茎全体が白く硬い毛で覆われています。
- ◎葉は濃緑色で、鳥の羽のような形に深く切れ込んでいます。
地面に近い部分の葉(根出葉)は密についており、長い柄(葉柄)があり
長さは柄を含めて20～25cmです。
- ◎つぼみの表面には、硬く伏した(寝た)毛が多数ついています。
- ◎果実は、表面に毛がなく、青緑色です。

※ハカマオニゲシは、「植えてもよいげし」の「オニゲシ」と、
外観が非常によく似ています。

ハカマオニゲシの「鮮やかな深紅の花の色」、「花びらの基部に存在
する鮮明ではっきりした黒紫の斑点」、「つぼみの表面の伏した(寝た)
硬い毛(オニゲシの毛は直立している傾向がある)」は、両種の植物を
見分ける手がかりです。

※ハカマオニゲシは、「オニゲシ」あるいは「オリエンタルポピー」の
名で園芸用に出回ることがありますので、注意が必要です。

